図書館システムに関するアンケート（実施要項）

令和2年12月9日

これからの学術情報システム構築検討委員会

1. 目的

本調査は、これからの学術情報システム構築検討委員会（以下「これから委員会」という）が「これからの学術情報システムの在り方について（2019）」（2019年2月15日公表、以下「在り方（2019）」という）で提示した、「新たな図書館システム・ネットワーク」に関して、①目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）参加館における図書館システム及び関連システムの現状と課題を把握し、②持続可能な運用体制（共同体）の構築と図書館システム及び関連システムの共同調達の可能性に関して意見聴取を行うために、実施するものである。

1. 実施方法
   * メーリングリストでの依頼
   * Web サイトからの回答
   * 令和2年12月31日（木）締切
2. 調査対象
   * 2020年11月末日時点での目録所在情報サービス参加館 1339館
3. 調査内容
   * 別紙（記入要領及び調査項目）のとおり
4. 回答の利用
   * 調査結果はこれから委員会での検討材料として利用し、目的外では使用しない。
   * 参加館と情報共有するため、自由記述部分を含め、機関、個人を特定できないよう処理したうえで、集計結果を公開する。
5. 調査についての照会先

「令和２年度図書館システム及び関連システムに関するアンケート」業務委託先：

日本データベース開発株式会社（library-system@ndk.co.jp）

アンケートの業務委託に関する照会先：

これからの学術情報システム構築検討委員会事務局（co\_korekara@nii.ac.jp）

図書館システムに関するアンケート（記入要領及び調査項目）

■記入要領

* 機関単位での回答をお願いします。
* 中央館と分館で異なる場合は、数値を合算可能な場合は全体を、状況が異なるなどの場合は中央館の状況をご回答ください。
* 統計数値は、特に断りのない場合、原則として、2020年5月1日現在の数値でご回答ください。
* 本調査における主な用語の定義は、別紙を参照ください。

■調査項目

1. 回答機関についての設問

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名 |  |
| 機関番号（KID番号）※１ |  |
| 回答部署名 |  |
| 回答担当者名 |  |
| 連絡先（e-mail） |  |
| 図書館・室職員総数※２ | 専任（）人　・　臨時（）人 |
| 上記の内、図書館システムの運用を担当する職員数  ※３ | 専任職員（　）人　・　臨時職員（　）人　※４ |

※１　機関番号（KID番号）https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/join/shinsei.html#7

※２　「令和２年度学術情報基盤実態調査」に回答された機関は、そちらの回答に合わせてください。

※３　図書館システムの運用を主たる業務として担当する職員数をご回答ください。

※４　臨時職員臨時職員には派遣職員も含みます。委託は含みません

1. 図書館システム（図書館業務システム及び関連システム）についての設問
2. 現行図書館業務システム

|  |
| --- |
| [2]ベンダー名：（選択）  その他（　　　　　　　　　　　　） |
| [3]契約方法：　□賃借契約　　　□買取契約 |
| [3]賃借契約の場合、契約月数：（　　　　）カ月 |
| [4]導入年月：（西暦）（　　　　　）年（　　　　　）月 |

1. 次回更新予定

|  |
| --- |
| □更新予定あり　ありの場合：西暦（　　）年（　　）月頃  □更新時期は決まっていない |

1. 現行図書館業務システムの調達単位

|  |
| --- |
| □図書館業務システム単体で調達  □業務・関連システムを一括調達  □機関内の他のシステム等と一括調達  □その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

* 「機関内の他のシステム等と一括調達」とは、目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）に参加している大学等の機関単位で一括調達している場合をご回答ください。機関を越えて同一法人等で一括調達している場合も含みます。

1. 現行図書館業務システムの経費

|  |
| --- |
| システム経費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　千円  情報検索ウェブサービス経費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　千円 |

* 2019年度決算額を回答ください。
* 「システム経費」には、図書館業務システムにかかる経費を計上してください。OPACが図書館業務システムの契約に含まれる場合は、こちらに含めてください。保守費用も含みますが、システムリプレイス、一時的な買取などでその年度に臨時的にかかった経費は計上しないでください。
* 「情報検索ウェブサービス経費」には、ディスカバリサービスやリンクリゾルバ等、図書館や機関が契約して提供している検索関連のウェブサービスにかかる経費を計上してください。保守費用も含みます。
* 「令和２年度学術情報基盤実態調査」に回答された機関は、その回答に合わせてください。

1. 関連システムの有無

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有無 | 有の場合 | |
|  | 使用システム名 | 現行図書館業務システムの調達に含まれているか |
| （1）電子情報資源管理システム(ERMS)  （2）リンクリゾルバ  （3）ディスカバリサービス  （4）AtoZ 的なツール  （5）機関リポジトリ（学外のサーバーも含む）  （6）デジタルアーカイブ（学外のサーバーも含む） | 〇有 〇無  〇有 〇無  〇有 〇無  〇有 〇無  〇有 〇無  〇有 〇無 |  | 〇有 〇無  〇有 〇無  〇有 〇無  〇有 〇無  〇有 〇無  〇有 〇無 |

* ３．調達単位や、４．経費に含まれるか否かに関わらず、図書館として関連システムを保有しているかをお答えください

1. 図書館システム（図書館業務システム及び関連システム）における課題についての設問

図書館システム（図書館業務システム及び関連システム）の課題に関する以下の設問について、現在、自機関における度合いを次の1から4でご回答ください。

1　とてもあてはまる

2　まあまああてはまる

3　あまりあてはまらない

4　まったくあてはまらない

1. 図書館システムの運用に係わる人材の確保は極めて深刻な課題である

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | ２ | ３ | ４ |

　コメント（　　　　　　　　　　　　）

1. 図書館システムの運用にかかる経費の確保は極めて深刻な課題である

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | ２ | ３ | ４ |

　コメント（　　　　　　　　　　　　）

1. 図書館システムの運用の複雑化は深刻な課題である

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | ２ | ３ | ４ |

　コメント（　　　　　　　　　　　　）

1. 図書館システムの調達業務は深刻な課題である

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | ２ | ３ | ４ |

　コメント（　　　　　　　　　　　　）

1. 図書館システム（図書館業務システム及び関連システム）の運用体制と共同調達についての設問
2. 次の共同体の活動のうち、各機関の課題解決において期待するものは何ですか（複数回答可）

□ 目録・メタデータの共有

□ 電子リソースの管理・提供方法の標準化

□ コレクションの相互利用、共同保存

□ 図書館システム運用にかかる情報交換

□ 人材育成（例：目録・メタデータの作成、電子リソースの管理・提供、デジタルアーカイブの管理・提供等）

□ 図書館業務の標準化・共通化

□ 図書館システムの共同調達・運用

□ その他（　　　　　　　　　　　　）

1. 10. で「□図書館システムの共同調達・運用」を選択した図書館の方にお尋ねします。図書館システムの共同調達・運用のどのような点に期待しますか？（複数回答可）

□ 図書館システム調達コストの節減

□ 図書館システム運用コストの節減

□ 図書館システム運用要員の削減

□ 図書館業務の標準化・共通化

□ その他（　　　　　　　　　　　　）

1. 図書館システムの共同調達・運用が実現した場合、具体的にどのような機能を利用したいですか（今後の計画策定の参考といたします。）（複数回答可）

□ 図書館業務システム（受入）

□ 図書館業務システム（目録）

□ 図書館業務システム（貸出管理）

□ 図書館業務システム（ILL）

□ 図書館業務システム（オンライン蔵書目録（OPAC））

□ 電子情報資源管理システム（ERMS）（契約、アクティベーション、アクセス統計管理）

□ マイライブラリー

□ ディスカバリサービス

□ リンクリゾルバ

□ AtoZ的なツール

□ 機関リポジトリ

□ デジタルアーカイブ管理・公開システム

□ 研究データ管理・公開システム

□ その他（　　　　　　　　　　　　）

1. 「これから委員会」についての設問
2. 「これから委員会」に対して要望することがあればご記入ください。（自由記述）
3. 現在の「目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）」についての設問
4. COVID-19環境下において、「目録所在情報サービス」に対して要望することがあればご記入ください。（自由記述）
5. CAT2020におけるレコード調整廃止等の見直しを受け、業務分析表（https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/bunseki2015.html）の廃止を検討しています。以下についてご回答ください。

□ 廃止しても問題はない

□ 廃止した場合業務に支障がある

　 具体的な支障についてご記入ください（　　　　　　　　　）

別紙

（参考）

* これからの学術情報システムの在り方について（2019）

<https://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara_doc20190215.pdf>

* 図書館総合展2020 NIIフォーラム

（4）学術情報基盤を支えるシステムと制度のこれから

<https://www.nii.ac.jp/event/other/libraryfair/#4>

* 2020年以降の目録所在情報システム（CAT2020）

<https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/cat2020/>

* 用語集

本調査における用語の定義は以下のとおりです。

1. 図書館システム：狭義の図書館業務システムに加え、図書館サービスを行うための電子情報資源管理システム（ERMS）、リンクリゾルバ、ディスカバリサービスなど関連システムを含む。
2. 図書館システムの運用：コンピュータ（ワークステーション、パソコン等）の運用・管理、図書館業務の電子計算処理。コンピュータを利用した「受入」「整理」「閲覧」及び「参考」の業務は含まない。システムのコンピュータやネットワークを管理し、障害発生時には対応を行ったり、更新されたソフトウェアの入れ替えを行ったりし、またはそれらの運用を担当している外注等業者、専門部署とのやりとりを行う業務。調達、更新作業を含む。
3. 図書館業務システム：図書館の業務を遂行するための中核的なコンピュータ・システム。目録、蔵書管理、雑誌、閲覧等の業務システムと基本的なOPAC等の情報サービスシステムから構成され、多くはパッケージシステムとして提供されている
4. 関連システム：図書館サービスを行うための電子情報資源管理システム（ERMS）、電子ジャーナル集（A to Z リストシステム）リンクリゾルバ、ディスカバリサービスなど。
5. 共同体：「在り方（2019）」で提案する「新たな図書館システム・ネットワーク」において、中央システムが提供する目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）機能や、各機関で導入する図書館システムを合理化、高度化するための枠組み。共通ルール策定、システム高度化、情報共有や人材育成のためのコミュニティづくりなどをNIIと役割分担をしながら、共同で行う。